

第127回 生涯教育研修セミナー

日時 2022年6月25日(土) 午後3:00～午後6:00

Web

方法 **Web配信** ※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたはQRコードにて6月19日(日)までにGoogleフォームでの参加登録をお願いいたします。追って事務局よりZOOMの登録用URLをお送りします。(ZOOMの登録用URLの送付まで数日いただく場合がございます。)

<https://forms.gle/HnR1AaMGN6HGj1fF9>



参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 1.5単位
カリキュラムコード 講演1:73、講演2:73、講演3:8

開会の辞 生涯教育研修セミナー委員会委員長 茂松 直之

挨拶 医学部長・慶應医学会長 金井 隆典
慶應医師会会長 安井 正人
三四会会長 武田 純三

テーマ: 『免疫異常がもたらす全身性免疫・炎症疾患』

免疫は、本来自己と非自己を識別し、自己を防衛するために働く機構です。免疫・炎症疾患は、この免疫機構が異常をきたし、正常な細胞や組織を攻撃対象として活性化することで多様な症状を引き起こす疾患で、全身性自己免疫疾患の代表がリウマチ・膠原病です。リウマチ・膠原病は自己免疫現象が全身におよび多彩な臓器障害をきたします。また、近年では明らかな自己免疫現象や感染症がないにもかかわらず、遺伝子異常を背景として全身性炎症を繰り返す自己炎症症候群も注目されており、もともとは小児科領域の疾患ですが、大人になって診断されるケースも増加しております。2019年末に端を発し世界中を巻き込んだSARS-CoV-2感染症においても、異常な免疫活性化が重症化の一因と考えられており、感染症における免疫応答を考えるうえで興味深い面があります。本セミナーでは、リウマチ・膠原病のみならず、成人の自己炎症症候群およびCovid-19やSARS-CoV-2ワクチンにおける免疫応答など、多角的な視点で免疫異常がもたらす全身性炎症病態を考えてみたいと思います。

モデレーター: 慶應義塾大学医学部内科学教室(リウマチ・膠原病) 教授 金子 祐子

講演

1. 「リウマチ・膠原病診療の進歩」

慶應義塾大学医学部内科学教室(リウマチ・膠原病) 准教授 鈴木 勝也

2. 「成人の自己炎症性疾患の診断・治療・進歩」

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻
リウマチ・膠原病内科学分野 教授 川上 純

3. 「リウマチ学から見た、COVID-19 ～コロナウイルス感染、ワクチンと免疫応答～」

慶應義塾大学医学部内科学教室(リウマチ・膠原病) 助教 近藤 泰

挨拶 中外製薬株式会社 代表取締役社長 奥田 修

閉会の辞 慶應義塾常任理事 北川 雄光

次回予定 2022年10月22日(土)開催

【共催】

慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会／慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会／慶應医学会
中外製薬株式会社

【連絡先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp